

みなみやま

vol.90

特集 退院支援

不安な退院後の生活に向けて
治す+支援する病院へ

CROSS people
病棟看護師×地域医療連携室看護師

医療法人財団 愛泉会で働く仲間たち
薬剤科

4

3

4

3



East Favorite
名古屋から東へ
お気に入りをご紹介します

愛知県みよし市
5月のミュゲット
美しい庭と
季節感あふれる
本格スイーツ



オーナーの小川和生さん。
優しい笑顔で迎えます。

食感を極めるスイーツ

美しいハーブガーデンに彩られた「5月のミュゲット」。南仏の家庭に招かれたような温かく居心地のいい空間がお客様を迎え入れます。28年前、オーナーの小川和生さんは名古屋市内で開業したものの、自然豊かなロケーションを探し求め、この地に移って16年。今では草花も生い茂り、訪れる人の目を惹きつけます。小川さんは和菓子店を営む両親のもとで育ち、ごく自然にパティシエの道へ。「タルト生地は毎朝サクッと焼き、歯ごたえや香ばしさを大切に」と本場ヨーロッパ式を受け継ぐ一方、きめ、ざらつき、しっとり感などケーキに合わせて食感にこだわるオリジナリティも光ります。舌に広がる幸せの時間、ぜひ味わってみてください。

5月のミュゲット

【住所】みよし市黒笹3丁目7-10
【TEL】0561-36-1530
【営業時間(休み)】
10:00~19:00
(カフェのLO18:30)
水曜定休・火曜不定休
(祝日は営業)

11月中旬より、
人気の「いちごのタルト」
が登場します。

賛助会員募集のお知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757 【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757
【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会 【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上でお願いいたします)

編集後記

「みなみやま」がカラーとなって2年。医療法人の広報誌ですが、難しくなく、役に立ち、ほっこりできる欲張りな冊子を目指しています!裏表紙のお店紹介も好評、とありがたいお話を聞きました。今号はケーキ店の登場…秋といえば、モンブランケーキが食べたいなあ。なんて私が一番ほっこりしているかもしれません。(諸石)

●これまでお寄せいただいているご意見・ご感想、大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

【医療法人財団 愛泉会】

■愛知国際病院 ■老人保健施設 愛泉館 ■指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■日進市東部地域包括支援センター
■訪問看護ステーション えまい ■住宅型有料老人ホーム カナン 【関連施設】AHI(アジア保健研修所)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 <http://aisen-kai.jp/>

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま90号」 発行日:2018年10月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣
※無断で複写、複製、転載することを禁じます。



スマートフォンでも
ご覧いただけます

お問い合わせ

医療について ☎0561-73-9179(地域医療連携室) 介護について ☎0561-74-1300(日進市東部地域包括支援センター)

【医療・介護についての受付時間】月~金曜 9:00~17:00 土曜 9:00~12:30

不安な退院後の生活に向けて 治す+支援する病院へ

高齢化が進むなか、医療や介護を受けながら病氣と共に生活する人が増えています。
不安の多い高齢者を支えるのは「病氣を治す医療」に加えて「退院を支援するしくみ」です。

病院の役割 1 急性疾患の 治療や改善

病氣や症状に合わせて適切な検査や治療を行い、1日も早い回復を目指します。救急指定病院では、医療機関が開いていない深夜などの時間帯でも患者さんを受け入れます。



病院の役割 2 日常生活動作の リハビリ

数日間ベッドで寝続けると筋肉が衰え、立つことさえ困難になってしまいます。入院中はできるだけ早い時期から「立つ、歩く、食べる」など日常生活動作のリハビリを始めます。



入院時から始まる 退院支援

かつて病院は「病氣を治す」ための場所であり、退院が医療のゴールでした。ところが高齢化にともなう、治療を終えても身体的機能が衰えたり、持病を抱えていたり、自宅に戻ってからの生活に不安を抱える患者さんやご家族が増えています。患者さんの状態や生活環境に応じて、多職種が連携を取りながら、在宅でのケア体制をサポートすることが求められます。地域包括ケア病床では、医師や看護師による治療に加え、「立つ、歩く、食べる」といった日常生活動作のリハビリを強化して、退院後も安心して生活できるよう支援しています。

愛知国際病院では、退院前にご自宅を訪問して生活動作に支障がないか確認して環境を整えるお手伝いをしたり、さまざまな相談に乗ったりと、親身に寄り添い、支える医療に取り組んでいます。

マンガでわかる、退院を支援するしくみ

1 救急搬送
救急指定病院では、いつ患者さんが運び込まれても対応できる体制を整えています。重篤な病氣と判断した場合、救命救急センター(3次救急病院)に搬送するなど病院間の連携も重要です。

2 入院中
食事、着替え、トイレ、入浴などの、日常生活に必要な動作練習を行います。さらに調理、洗濯、買い物、掃除など、退院後の生活に向けたさまざまな動作練習も行います。

3 病室
家でもリハビリして散歩できるようなプランには？
訪問診療は2週間に1回にしましょう

4 地域医療連携室
退院後の生活に不安を抱く患者さんやご家族も少なくありません。その不安の声を耳を傾けながら、さまざまな相談に乗ったり、解決策を導き出したりするのも、私たちの重要な役目です。

地域包括ケア病床とは？

2014年に新設。急性期治療を終えた患者さんを対象に、リハビリを中心とした治療を提供します。愛知国際病院の「地域包括ケア病床」では、土日もリハビリを実施し、1日も早い退院を支援しています。

病院の役割 3 退院に向けた 計画や提案

退院後の生活について、患者さんやご家族から早い時点で話を伺い、できるだけ希望に添えるよう準備を進めていきます。
担当のリハビリスタッフや看護師、社会福祉士が、機能回復やリハビリ目標に向けた計画を立て、ケアマネジャーとも連携を取りながら、必要であれば住宅改修や介護の仕方、各種介護サービスなども提案します。



退院後の 住まいや 生活を支援

社会福祉士や退院調整看護師、ケアマネジャーが、退院後の住まい(生活環境)を確認し、福祉用具の提案など、さまざまな相談に乗ります。自宅での生活が困難な場合は、デイサービスやデイケア、希望に合った入所施設の紹介も行います。



愛知国際病院のシームレスな退院支援

愛知国際病院は1981年の設立以降、地域の中核病院として患者さんを受け入れるだけでなく、訪問診療や訪問看護など自宅や施設での療養を支える体制も整えてきました。また、在宅療養支援病院として院内多職種の連携はもとより、院外の事業所(ケアマネジャーなど)とも緊密に連携しながら、生涯にわたって、途切れることなく地域のみなさんを支えます。

訪問看護、訪問診療

- 介護老人保健施設「愛泉館」
- 訪問看護ステーション「えまい」
- 指定居宅介護支援事業所「愛泉館」
- 日進市東部地域包括支援センター
- 住宅型有料老人ホーム「カナン」
- デイサービス「カナン」
- ヘルパーステーション「カナン」

病院

施設